

宮城県福祉サービス第三者評価結果

1 第三者評価機関名

宮城県社会福祉協議会

2 施設・事業所情報

名称：新生保育園	種別：認可保育園	
代表者氏名：園長 齋藤 典子	定員（利用人数）：40名	
所在地：気仙沼市東新城三丁目10-11		
TEL：0226-23-7949	ホームページ：	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：平成26年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人新生会		
職員数	常勤職員：14名	非常勤職員：2名
専門職員	保育士 12名	調理員 2名
	看護師 1名	
	栄養士 1名	
施設・設備 の概要	(居室数) 4	(設備等)
	乳児室1、保育室3	遊戯室(ホール)、調理室

3 理念・基本方針

- ・子どもの最善の利益の尊重
- ・子どもの発達保障
- ・保護者との協力
- ・個人情報の配慮
- ・チームワークと自己評価
- ・地域の子育て支援
- ・専門職としての責務

4 施設・事業所の特徴的な取組

- ・昭和51年、就労婦人の増加に伴い、産休明け婦人を対象とした無認可保育園を設立したのがはじまりで、乳児及び未満児までの保育に特化した事業運営を実施しています。
- ・東日本大震災では園舎が全壊し、平成26年4月より、現在の新園舎にて再園しています。災害を経験した保育園として、防災と不審者対応といった子どもたちの安全確保に力を入れて取り組んでいます。

5 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成28年11月11日（契約日）～ 平成29年3月27日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	1回（平成 年度）

6 総評

◇特に評価の高い点

○「豊富な保育経験とチームワークで子ども一人ひとりに合わせた保育を行っています」

保育園では、看護師を配置し産休明け保育を行っています。保育士の平均経験年数が20年で豊富な保育経験と職員の連携の良さがあり、子ども一人ひとりに個別指導計画を立て、保育しています。また、今回の第三者評価受審での保護者アンケートでは、保育内容に対する結果も良く、保育園の保育に信頼を寄せていることがうかがえます。

○「子どもの安全確保のための取組を積極的に行っています」

保育園では、東日本大震災の経験から、子どもの安全確保のための取組に力を入れています。災害時の対応として、年間計画の中に毎月の防災訓練が想定を変えて計画され、地震・火災・不審者対応に加え、今年度より大雨・洪水訓練を実施しています。

保護者に対しては、入園時のしおりに災害時の対応について明記し、説明しています。また、過去に保護者向けの研修会を実施したり、引き渡し訓練を実施する等で保護者との連携を図っています。

○「職員一人ひとりの育成と働きやすい職場づくりに努めています」

保育園では、職員の定着、福利厚生、事務体制等の充実を経営強化の方針として取り組んでいます。職員の育成については、園長との面談による職員の意識調査を実施し職員一人ひとりの目標が設定され、年度末には1年間の評価・反省、講評がされています。

また、日常的に園長と主任保育士が積極的にコミュニケーションをとり、保育や職員の状況を把握し、話しやすい環境と働きやすい環境づくりに努めています。

◇改善を求められる点

○「中・長期計画の精査と収支計画の策定を期待します」

保育園では、平成28年度に3か年の中・長期計画は策定しましたが、内容については、精査が望まれます。理念や基本方針の実現のための保育サービスの内容、組織体制、設備、人材育成等の課題を解決、達成するための具体的な内容を期待するとともに、事業経営を取り巻く環境と経営状況を把握・分析し、中・長期計画に基づいた経営の収支計画の策定を期待します。

○「標準的な実施方法を文書化されることを期待します」

保育園では、保育課程や指導計画で保育サービスについて確認されていますが、標準的な実施方法については文書化されていません。

今後は、保育サービスの一定の水準を保つためにも、保育日課に沿った保育士の業務手順等について文書化し、保育サービスの提供状況を確認する仕組みの構築を期待します。

○「地域との交流や地域貢献の取組が望まれます」

保育園では、不審者対策や防災対策として警察や消防等地域の関係機関との連携が図られていますが、地域の人々との交流や保育園の機能を地域に還元することが課題であると捉えています。地域の福祉ニーズ等を把握し地域に貢献する保育園であることを目指すためにも、今後の取組に期待します。

7 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

評価調査員の質問は、細部まで踏みこんだものが多く、資質の向上、運営、対応などアドバイスを沢山いただき、その日からの改善につながりました。そして、評価結果は的確であり、課題が明らかになって、受審をきっかけに保育の改善を確実に図っていきたいと思いました。

これからも、子どもたちにとって安心・安全な生活の場であること、そして保護者の皆様からも信頼される、地域に根ざした園づくりを目指していきたいと思います。

8 各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙のとおり（施設の区分に応じ福祉サービス第三者評価結果票を添付する。）

(別紙)

福祉サービス第三者評価結果票（保育所版）

※ すべての評価細目（69 項目）について、判断基準（a・b・c の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※ 評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none">・ 保育園の理念や基本方針は、パンフレットや保育課程等に明文化されています。・ 理念や基本方針の周知について、職員に対しては年度初めの会議で園長より周知が図られています。保護者へは玄関前の掲示や契約時に説明が行われていますが、さらにわかりやすく説明するための資料等の作成が望まれます。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none">・ 保育園では、平成 27 年に気仙沼市より要請があり、定員を 30 人から 40 人に増員し、地域の福祉計画の動向や保育所を取り巻く環境等についての把握に努めています。さらにそれらを分析して、保育所の経営に役立てるといった取組が望まれます。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none">・ 保育園では、給食の外注、看護師の雇用、役員の派遣が課題であると把握し取り組んでおり、中・長期計画においても経営体制の強化することを謳っています。・ 今後は、経営上の課題を解決する上で、職員の意見を聞いたり、職員同士の検討の場を設定したりする等、組織的な取組が望まれます。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園では、平成28年度に3か年計画で中・長期計画を策定しましたが、中・長期の収支計画が策定されていません。中・長期計画に基づいた収支計画策定が望まれます。 		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園の平成28年度事業計画については、行事計画中心になっていましたが、今回の第三者評価受審をきっかけに、平成29年度事業計画はこれまでの経過を踏まえて策定しています。 ・保育園の環境整備の単年度計画は、実現可能なものになっており、掲示板の設置、砂場の砂の補充、園庭・室内用の遊具の補充を行っています。 		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園では、単年度の事業計画は策定されています。基本となるものは園長と主任保育士で話し合い、職員会議において全員協議し策定しています。 ・事業計画の策定については、職員の意見の集約・反映の仕組みが組織として定められ、評価や見直しを含めた手順を整理することが望まれます。 		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園では、玄関に事業計画や収支予算決算書等一冊に綴られた冊子を掲示し、保護者等がいつでも見られるようにしています。 ・今後は、事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成する等の方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫が望まれます。 		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園では、前年度まで自己評価は行っていませんでしたが、今年度いち早く（市内では初めて）福祉サービス第三者評価を受審して、改善点の取組を保育園全体で実施する等組織的に行われています。今後も継続して取り組むことが望まれます。 		

9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、給食・防災・事故防止・保育参加の項目については、評価・見直しを職員会議において職員全員で行っています。 ・ 今後は、第三者評価結果から明確になった課題に対し、改善の取組を計画的に実施することが望まれます。 		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園長は、常々職員は子どもの豊かな育ちと子育て中の保護者を支えることが使命であり、自己を振り返り専門性と質の向上に向けて努力する事を表明しています。 ・ 園長の役割等については、事務分掌表、運営規程等に明示されています。 		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園長は、法令遵守の観点での経営に関する研修会や勉強会には参加していませんが、職員には日頃より、個人情報、災害、消費者安全法等の情報を提供しています。 		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園長は、子どもが安全に楽しく過ごすことを基本に日々の保育サービスの提供を心掛けています。また、保護者との信頼関係と職員のチームワークを大事にし、上からの指導ではなく側面からの指導を心掛けていることを会議の場等で表明しています。 ・ 保育園での教育・研修は、個々の職員に合った研修を受講しています。 ・ 保育園の現在の職員は、14人中11人が震災前からの職員で職員間のチームワークは非常に強いと感じられます。 		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園長は、時間外勤務をできるだけしないように配慮したり、年次有給休暇を取得しやすくする等働きやすい環境づくりをしています。 		

・法人の取組としては、福利厚生センターの加入状況、福利厚生事業計画、実施状況、職員案内資料を確認しました。

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<コメント> ・保育園では、中・長期計画の経営強化の項目において、職員の定着や福利厚生のため臨時職員から正規職員への増員や事務体制の強化を明記しており、今年度は臨時職員から3人を正規職員にしています。また、保育士を配置基準より多く配置することで、離職率が低く効果的な人材育成と確保ができています。		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<コメント> ・法人では、全体的な人事管理を実施しており、独自の規定により職員の給与や昇給等が定められています。 ・保育園では、年度初めと年度末に園長との面談により職員の意向調査を実施し、記録されています。また、保育士に対して適宜、園長が口頭により指導しています。		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a・b・c
<コメント> ・保育園では、職員の相談窓口を主任保育士とし、園長と共に積極的にコミュニケーションをとり、職員との面談や日頃より各クラスでの保育や職員の状況を把握し、話しやすい環境づくりに努めています。 ・保育園では、時間外勤務をできるだけしないよう配慮したり、年次有給休暇を取得しやすい働きやすい職場環境にしています。		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<コメント> ・保育園では、年度はじめに園長が職員と個別面談を実施し、個人ごとに年間目標シートを作成しています。目標については、個人で評価・反省を行った上で、園長が講評しています。また、併せて年度末に保育士が自己評価を実施しています。 ・職員一人ひとりの育成に向けては、今後さらに設定した目標について計画的に中間面接を行う等、適切に進捗状況の確認が行われることが望まれます。		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<コメント>		

<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、人材育成の観点と職員の希望を基に計画的に研修参加をしています。 ・ 今後、保育園として職員の教育・研修に関する基本姿勢を明確にし、計画として策定することが望まれます。 		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、職員一人ひとりの教育・研修の機会は確保されています。研修に参加した職員は報告書を提出し、職員会議において報告会が行われています。 ・ OJTについては、職員の経験に応じて保育園全体で取り組んでいます。指導内容等については記録し、活用されることが望まれます。 		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、実習生の受入れについては県保育士養成校連絡協議会より依頼があり、毎年2件程度の受入れを行っています。 ・ 保育園では、実習生受け入れマニュアルを作成し、リーダー保育士が実習生の対応を行い、職員には職員会議で、保護者には送迎時に周知しています。 		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、掲示板を設置し理念・基本方針や園の概要を公表しています。また、園玄関には事業計画、収支予算決算書等も公表しています。 ・ 保育園では、設立後地域に根差した運営に欠けている事が課題であると捉え、来年度には近くの仮設住宅の住民との交流会やホームページを利用したの公表を考えています。今後、さらに積極的な情報公開を期待します。 		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、内部監査は定期的実施されていますが、外部監査については今後検討していくとのことであり、実施されることを期待します。 		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、法人内のケアハウスの利用者との交流は定期的に行っていますが、より積極的な地域との交流を課題であると捉えています。 ・ 今後は、近くの仮設住宅の住民との交流や中学生の職場体験等の受入れを実施したいと考えています。地域との交流を積極的に行うことを期待します。 		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、「保育ボランティア・職場体験マニュアル」を作成し、マニュアルに沿って対応しています。今年度は3件の登録があり、震災後より継続して受入れているボランティア団体もあります。 ・ 今後は、地域の方との交流や育児相談、中学生等の職場体験受入れを考えており、交流の機会を多くすることを期待します。 		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、関係機関の一覧表を作成し、事務室の職員が見やすい場所に掲示され周知が図られています。また、不審者対策では、駐在所との連携を強化し、毎月職員会議で不審者対策の対応等の協議をしています。 		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、これまで保育園の機能を地域に開放・提供する取組を行っていません。今後は、地域の意見を聴く会、育児相談の開催を考えています。 ・ 保育園の機能を活かし、地域のまちづくりに参加していくことを期待します。 		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、年6回散歩コース等地域の清掃活動を役員も参加して行っています。 ・ 保育園では、子育て支援として育児相談等を考えています。地域社会に貢献する保育園であることを目指すためにも今後の取組に期待します。 		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c
<コメント> <ul style="list-style-type: none"> 子どもを尊重した保育については、理念や基本方針に基本姿勢が明示され、職員会議での周知と事務室や保育室に掲示することで共通の理解を持つように努めています。 全国保育士会の倫理綱領を職員会議で年4回読み合わせを行い、保育園全体の意識向上に取り組んでいます。 		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・b・c
<コメント> <ul style="list-style-type: none"> プライバシー保護や権利擁護については、主任保育士を窓口にも、日々職員間での話し合いを行っています。また、保育NGワード集（子ども・保護者向け）を作成し、権利擁護に配慮した保育に努めています。 生活面でのプライバシーへの配慮として、トイレ利用時は戸を閉めて対応していますが、おむつ交換では他の子どもの目に触れないような工夫・配慮が求められます。 今後は、プライバシー保護に関する規程・マニュアル等の整備が望まれます。 		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c
<コメント> <ul style="list-style-type: none"> 利用希望者には、主任保育士がパンフレットや入園のしおりを配布して丁寧に説明しています。見学希望者は増えている状況です。 今回の第三者評価受審をきっかけに、地域向けの掲示板を設置し、パンフレットを掲示しました。 ホームページは次年度作成予定にしています。 		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<コメント> <ul style="list-style-type: none"> 入園にあたっては、入園のしおりと重要事項説明書で保育サービスについて説明し、保護者の理解と同意を得ています。 入園にあたっての面接は十分に時間をかけて行っています。特に一日入園の前の健康面談は丁寧にしています。 今回の第三者評価受審にあたっての保護者アンケートでは、殆どの方が入所時の説明はわかりやすかったと回答しています。 		

32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・ <input type="checkbox"/> ・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒園後は、市内の主任保育士会議でその後の子どもの様子を確認し、移行先との情報共有等継続性に配慮しています。 ・保育所の変更にあたっての手順や引継ぎ文書は定めていません。保育の継続性に配慮した手順と様式を定めておくことが望まれます。 		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・ <input type="checkbox"/> ・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の満足の把握は、年1回の個人面談や父母会・父母会役員会・保育参加時に保護者に声掛けする中から把握しています。 ・子どもや保護者の満足の向上のため、子どもの満足の把握や保護者に対する満足に関する調査等の仕組みを整備することで、更なる保育の改善に向けた積極的な取組が望まれます。 		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	<input type="checkbox"/> ・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決の仕組みは確立しており、保護者へは入園時に説明しています。また、苦情解決に関する窓口を紹介したポスターを園玄関に掲示しています。 ・保育園では今まで苦情はなかったとのことで、今後、苦情があった際には苦情解決の仕組みに従って対応していきたいと考えています。 		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	<input type="checkbox"/> ・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園では、保護者が気軽に相談や意見を述べやすいように案内文書を配布しています。また、毎日の送迎時や連絡帳を通して意見を聞くようにしています。 ・今回の第三者評価の受審にあたっての保護者アンケートでは、殆どの方が意見交換や相談する機会は十分との回答でした。 ・保護者との話は主に玄関や保育室で行っており、個別的な相談があれば事務室で行うとのことであり、相談しやすい環境への配慮が望まれます。 		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	<input type="checkbox"/> ・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの意見や要望については、玄関にコメントボックス（意見箱）を設置して随時意見を受け付けています。 ・保護者から意見があった際には職員会議で対応を検討し、回答を玄関に掲示することで他の保護者へも内容を伝えています。 		

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では事故発生時の対応マニュアルを作成し、手順等を明確にしています。 ・ 子どもの安心と安全を守るためにヒヤリハット事例を収集し、職員会議で事例の検証や対策を検討して事故防止に努めています。 ・ 今後は、事故の種類別の対応方法について整理されること、ヒヤリハットで収集した事例を集計し分析することで危険への傾向を把握し、更なる事故防止に努めていくことが望まれます。 		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では感染症対応マニュアルを作成し、保育士にはその都度声掛けし予防に努めています。 ・ 保護者へは保健だよりでの注意喚起と、行政から通知があった時にも文書配布しています。 ・ 感染症の研修会に参加し、職員全体に伝達して予防について周知を図っています。 ・ 感染症対応や手洗いについての文書を各保育室に掲示し、注意喚起しています。 		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の対応として、年間計画の中に毎月の防災訓練が想定を変えて計画し、実施されています。報告書には、役割毎・クラス毎に反省と課題が整理されており、安全確保の取組を組織的に行っています。 ・ 過去の津波の経験から、3日分の備蓄品・発電機やストーブ・コンロ等を準備しています。また、津波対策として緊急避難所を建設予定にしています。 ・ 地元の警察署や消防署と連携し、防災訓練時にも協力を依頼しています。 		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、保育課程や指導計画で保育サービスについて確認されていますが、標準的な実施方法については文書化されていません。 ・ 今後は、保育日課に沿った保育士の業務手順等について文書化し、保育サービスの提供状況を確認する仕組みの構築を期待します。 		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c

<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園として、保育士の業務手順等を文書化し、PDCA サイクルによって保育サービスの質に関する検討が組織として継続的に行われることを期待します。 		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
42	<p>Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、入園時と年1回の個別面談や日々の保護者との話から個別のニーズを確認しています。特に0歳児は保育士と看護師が入りアセスメントを実施しています。 ・ 子ども一人ひとりの計画を2か月ごとに作成、職員会議で検討し策定しています。 ・ 今回の第三者評価受審をきっかけに、アセスメント票を作成しました。 ・ 今後さらに、指導計画の中に子ども一人ひとりの具体的なニーズが明示されることが望まれます。 		
43	<p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導計画の評価・見直しは、2か月ごとに実施しており、クラス担任で話し合い、共有しています。 ・ 指導計画の評価・見直しにあたっては、課題等を明確にし、計画の改善につながる仕組みを整備することが望まれます。 		
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	<p>Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導計画に基づく記録は、一人ひとり日々の保育日誌に記録されています。 ・ 記録の書き方については、園長・主任保育士・リーダー保育士が指導し、記録内容や書き方に差異が生じないようにしています。 ・ 情報共有では、文書の回覧の他、ホールに黒板を設置し連絡事項を記載、子どもに係ることは口頭で各クラスに伝えています。 		
45	<p>Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報に係る記録は、事務室内の引き出しに鍵をかけて保管し、主任保育士が管理しています。 ・ 職員が個人情報保護の理解のため、職員会議で周知徹底しています。 ・ 個人情報保護に関する規程を作成していますが、保護者向けの内容になっています。今後さらに、職員向けの規程を作成することが望まれます。 		

評価対象 A 福祉サービスの内容

A-1 保育所保育の基本

A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
46	A-1-(1)-① 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の保育課程は、経営法人の理念・方針と保育指針を基に編成され、今年度は保健年間計画と食育計画が加えられて整備された内容になっています。 ・ 今後は、全職員の参画で検討・記録し、さらに整理することを期待します。 		
47	A-1-(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 0歳児クラスの保育では、「特定の保育士」への配慮は、年度初めの子どもの不安をなくすために行っています。離乳食のすすめ方等は給食室（栄養士）と保護者と保育園とで、月2回確認し合いながら進められ、記録もされています。乳幼児突然死症候群対応として睡眠チェックも行われています。 ・ 看護師1名のクラス配置があり、産休明け保育を行うために特に健康管理で、心強い存在で連携も取れています。 ・ 室内環境整備等では、概ね良好でしたが、さらに室温・湿度の確保等への配慮が望まれます。 		
48	A-1-(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、内容や方法に配慮されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1歳児クラス担任からは、子ども一人ひとりの気持ちを大切にし、自我の確立を促していますが、待たせる事もあるとの貴重な省察がありました。 ・ 2・3歳児クラス担任からは、混合クラスの運営の難しさも出されましたが、3歳児への適切な配慮がなされています。 ・ 保育計画の立案や評価・反省等は、概ね良好でしたが、さらに課題を明確にすることを期待します。 		
49	A-1-(1)-④ 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、3歳児については特例措置として対応しています。個別指導計画も立案し、2歳児との混合クラスで保育しています。 		

50	A-1-(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、就学までの子どもを対象としていないため保育課程への位置づけは、ありません。 		
A-1-(2) 環境を通じて行う保育		
51	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士は、大きな声で対応する様子はなく、全体に落ち着いた雰囲気がありました。建物は新しく快適ですが、1歳児のトイレでのおむつ交換（大便）は、冬場は寒く工夫が求められます。 ・ 保育室の適切な温度・湿度管理については、さらに配慮が望まれます。 		
52	A-1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的な活動ができるような環境が整備されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、子ども一人ひとりの状態に応じた基本的な生活習慣の確立への努力が感じられます。衣服の着脱がしやすいような援助は適確で自立に向かっていきます。2歳児クラスの排泄の自立は12名中3名との事（2月訪問時）でした。 ・ 外遊びには、午前中を中心に20分から30分以上は誘っています。 ・ 環境整備では、毎日園内の遊具等整備状況を確認し、砂場の回虫卵検査は年2回実施し、記録されています。 		
53	A-1-(2)-③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの主体的な活動については、子どもの発案から砂遊びが展開された事例を聞くことが出来ました。園長からは、その年齢に応じて子どもが楽しんで活動できる様に配慮して進めているとのことでした。 ・ 今後は、子どもの主体性や協同的な体験への理解をさらに深め、日々の保育に反映され記録することを期待します。 		
54	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが身近な自然に関わる事や動物と接する事は、工夫の余地がありそうです。今後、さらに活動内容に配慮されることが望まれます。 ・ 保育園では、法人の経営するケアハウスの訪問を行っています。これから地域に根ざす活動もさらに計画中とのことです。 		

55	A-1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、保育士が紙芝居を読んだり、様々な表現活動が体験できるように配慮されています。さらに、子どもが自由に読める絵本の充実やいろいろな人との交流等人的・物的環境整備が望まれます。 		
A-1-(3) 職員の資質向上		
56	A-1-(3)-① 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、保育士等が個別目標シートや簡単な自己評価様式に記入の後に園長と面談し、資質の向上に努めています。 ・ 今後は、「保育の自己評価ガイドライン」等を参考にして、職員一人ひとりの自己評価及び保育園の自己評価を行い、さらに保育の改善に努めることを期待します。 		

A-2 子どもの生活と発達

A-2-(1) 生活と発達の連続性		
57	A-2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、子ども一人ひとりの理解と受容を心がけ、2ヶ月ごとに個別指導計画を全員に作成しており、細やかに記録されています。 ・ 今後は、乳児クラスも隔月立案が適当か等、年齢に応じた保育の検討が望まれます。 		
58	A-2-(1)-② 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、現在、障害のあるお子さんは入園していません。 ・ 今後は、障害がある（または疑われる）子どもへの対応手順等を整備していくことを期待します。 		
59	A-2-(1)-③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、保育士が丁寧な見守りを行っています。職員間で子どもの状況等が確実に引き継がれ保護者に伝達された記録を残す事や、くつろぐ環境づくりの見直し等の改善が望まれます。 		

A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
60	A-2-(2)-① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、子ども一人ひとりの健康状態を把握・記録し、健康管理に対する基本的なマニュアルが整備されています。今年度は、病院へ行く怪我の発生はなく、丁寧な見守りがありました。怪我別の対応手順等今後も継続した整備が望まれます。 		
61	A-2-(2)-② 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、委託という状況下においても、子どもの嗜好把握等は、保育士・調理員・栄養士間で共有され、訪問時も子どもが行事食を楽しんで食べていました。調理室とはドアで隔てられていますが、作業は一部見ることができ、育てた野菜を調理する等の交流があります。今後も手作りおやつ回数を増やす等、継続した見直しが望まれます。 		
62	A-2-(2)-③ 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a・b・c
<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託先の栄養士は、一人ひとりの嗜好をアンケート等で把握し、献立作成や調理に活かしています。 ・ 委託という制約がある中でも、保育園と給食室とで徐々に意思疎通が図られ食事内容が改善されてきており、継続した取組が望まれます。 		
63	A-2-(2)-④ 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診断と歯科健診の実施に関しては、第三者評価受審での保護者アンケートでも満足度は高く、実施記録や保護者への報告も記録されています。 ・ 前年度の保護者懇談会では歯科衛生士の講話を聞き、保護者と共通理解するようにしたとの事です。 		
A-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
64	A-2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園では、主任保育士を中心にクラス担任や栄養士・看護師と連携し対応しています。 ・ 子どもの通院の都度、医師の指示等を確認・記録し、職員間で共有され、適切に対応しています。 		
65	A-2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a・b・c

<コメント>

- ・ 保育園では、組織的・継続的な衛生管理に努めています。感染症発生時の衛生管理については、ガイドライン等を参考にマニュアルのさらなる整備と対応が望まれます。

A-3 保護者に対する支援

A-3-(1) 家庭との緊密な連携

66	A-3-(1)-① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a・b・c
----	---------------------------------------	-------

<コメント>

- ・ 保育園では、子どもの食事場を保護者が参観したり、給食サンプルを展示しています。
- ・ 保護者の給食試食は、委託の為実施出来ない等の制約はありますが、保護者懇談会に栄養士が参加する等家庭との連携に配慮しています。今後も保護者との連携を深めるために更なる実施方法の工夫が望まれます。

67	A-3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a・b・c
----	---	-------

<コメント>

- ・ 保育士の保護者に対しての育児支援については、実際に保護者対応の様子で確認しました。
- ・ 保育園では、連絡帳や電話等で相談に応じたり、年1回保護者との個別面談を実施し記録しています。さらに保護者の意向確認の機会を増やしていくことが望まれます。

68	A-3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a・b・c
----	---	-------

<コメント>

- ・ 保育園では、保育参加を実施し、保護者と園が育児の方法等について共通理解を深める努力姿勢があり、保護者からの感想も良い状況です。
- ・ 懇談会等では、今後さらに実施内容を充実させ、共通理解がより深まることが望まれます。

69	A-3-(1)-④ 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a・b・c
----	--	-------

<コメント>

- ・ 保育園では、今年度対応マニュアルを作成しました。今後さらに職員へ周知するとともに、マニュアルを定期的に見直し予防や早期発見に努めることが望まれます。